

かせつじゅうたくを^{つく}作る しごと

あさ 朝の 5 時に おこされ、じじの とら^{とら}ックに のって
ふたり 二人で、いし 石のまきに むか^{むか}って 出^{しゅつ}ぱつしました。

トラックには、かせつじゅうたくの やねと やねを
とめる な^なつと つん^{つん}で 行^いきます。

まつしま 松島だい五小学校の 校^{がう}ていの 4 ばい ぐらい でっかい
やま 山の 上^{うへ}の あき^{あき}地に、新^{あたら}しい じゅうたくを 作^{つく}って
いました。じじが ろう^{ろう}ぶを はず^{はず}して クレー^{くれ}ンの
ワイヤー^{わい}を にも^いつに かけ^{かけ}て おろ^{おろ}します。

すごく あつ^{あつ}い 中^{なか}、エア^{えあ}コンを 止^とめるので
ま^まどを 全^{ぜん}か^かいに して やり^{やり}ます。それでも あつ^{あつ}くて
あつ^{あつ}くて、あせ^{あせ}だ^だく^くに な^なって はたら^{はたら}いて います。
みんな いそ^{いそ}いで います。つな^{つな}みて 家^{いえ}を な^なが^がされ^れた
ひと^{ひと}たちの た^ために、みんな 一^{いっ}生^{しょう}けん^{けん}めい はたら^{はたら}いて
いました。あつ^{あつ}い 中^{なか}、人^{ひと}の た^ために はたら^{はたら}く^くって、
すご^{すご}いなあ^あと 思^{おも}いました。

じじや そう^{そう}いう し^しごと^{ごと}を して いる 人^{ひと}たちは、
ほん^{ほん}とう^{とう}に すご^{すご}いです。

じじや あの あ^あつ^つい 中^{なか}、こま^{こま}って いる 人^{ひと}たちの
た^ために はたら^{はたら}いて いる 人^{ひと}を ^み見^みて、そう^{そう}いう 人^{ひと}の
た^ために なる し^しごと^{ごと}を し^したい^{たい}と 思^{おも}います。

(作文宮城 60 号 特別編「あの日の子どもたち」より)

